

A LITTLE SCHOOL WITH BIG DREAMS

“小さな学校 大きな人間づくり”

このうら

佐世保市立神浦小学校

校長室便り

No.70

平成26年2月7日(金)

文責：校長 園田 俊郎



学校教育目標：心やさしく 進んで学び たくましく生きる子どもの育成

中学校入学を控えて・・・「つなぎ授業」実施

宇久地区では、小中高の12年間を見通した一貫教育に取り組んでいます。その取組の一つに『小中つなぎ授業』があります。小学校と中学校では、学習する教科の種類やその内容、学習進度の速さの違いだけでなく、教科ごとに教える先生が替わる（教科担任制）など、様々な違いがあります。

私たち大人にとって、中学校生活は既に経験済みの過去の事、既知の事なので、当たり前的事として捉えがちです。しかし、小学校で6年間という長い年月を過ごした子ども達にとって、**中学校は未知の世界。知らない世界**なので、楽しみな反面、様々な不安も感じるようです。

そこで、小学校と中学校との違いから生じるギャップ等を解消し、スムーズに中学校入学、そしてその後の中学校生活に適應する事ができるようにするための活動の一つが「つなぎ授業」です。



6年生の子ども達が中学校で、中学校の先生方の授業を受けます。5日(水)、朝から宇久中学校へ移動し、一日を宇久中学校で過ごしました。神浦小学校、宇久小学校の児童相互のふれあい、交流や中学校の先生方と子ども達の相互理解と中学校での授業や学校の雰囲気を理解する一助になると思います。午後には中学校入学説明会も行われました。中学校入学に向け、たっぷり一日を使ってじっくりと体験できるのは、宇久地区の小中高一貫教育のよいところですね。



子ども同士は、合同修学旅行をはじめ、何度も交流をしてきているので問題なく一緒に活動できるのですが、「中学校」という場所に対する意識のせいでしょうか、最初はみんな緊張気味で表情も少し硬く見えてましたが中学校の先生方の温かさや楽しい授業で、少しずつ気持ちがほぐれていったようでした。

今回の活動で、中学校入学と言う新たな門出に対する意欲が高まったことでしょう。4月から、両校合わせて7名の子ども達が、仲良く協力し、認め合い、支え合い、高め合い、磨き合い、信頼しあって過ごせることを願っています。中学校の先生方、宇久小児童の皆さん、お世話になりました。ありがとうございました。

《 受賞おめでとう 》

長崎県読書感想文コンクールで最優秀賞を受賞した三ヶ崎さんが、佐世保市教育委員会文化・スポーツ表彰を受けることになりました。

【文化優秀奨励賞(個人) 感想文分野】 三ヶ崎裕也 さん



1校時は社会科の授業でした。若干、緊張気味

